

カ タ リ ナ

学報

第40号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2018. 6. 1



聖カタリナ大学第31回

聖カタリナ大学短期大学部第53回 入学式式辞

学長 ホビノ・サンミゲル



春は1年の中で最も美しい季節であると言われて
います。今年は桜の花が早く咲き、その美しさは
私たちの心を温かくし、喜びで満たしてくれます。
この美しい季節の始まりに、336名の優秀な若者を
本学に迎え、彼らの希望に満ちた人生の春を、共に
祝うことができることを嬉しく思います。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

また、遠く台湾、韓国、中国からやって来た留学生
の皆さんとも、同じ喜びを分かち合いたいと思いま
す。できるだけ早く日本の生活と文化に慣れて、皆
さんが日本へ来た目的が達成できるようお祈りい
たします。

また、松山赤十字病院横田英介院長様はじめ、ご
来賓の皆様には、お忙しい中、ご列席下さり、ありが
とうございます。心から御礼申し上げます。

何より、保護者の皆様に、心よりお喜び申し上げ
ます。新入生が、この良き日を迎えることができた
のは、ひとえに皆様のおかげです。彼らを支え、励ま
し、力づけてくださったおかげで、今日の日がある
と思っています。

さて、新入生の皆さん、皆さんは今日から人生の
新しいステップを踏み出そうとしています。皆さん
は幸せな人生を過ごすことを目指して高等教育を
受けることを決めました。このステップの重要性を
意識していただきたいのです。昨年、文部科学省で
は、すでに「人生100年時代」の構想の教育プログラ
ム対策を考え始めていますが、皆さんには本学でこ
れから長く、豊かな人生を過ごすための強固な基盤
をつくって欲しいのです。

将来の社会は自然科学と技術の進歩によって激
しく変化していくでしょう。私たちが変化していく

社会の中で安心して生活を送るために人生には、強
い土台を置かなければなりません。そしてその土台
の中にはさまざまな要素を含む必要があります。す
なわち、専門的な学問、倫理的な価値観、そして精神
的、宗教的な価値も身に付けることが重要です。

新入生の皆さん、確かに現代において人間の寿命
は100歳に近づこうとしています。しかし人間は生
きるだけでは、必ずしも幸せな人生を過ごしたとは
言えません。人間の命は体と心を持っており、また
人間は物質的な存在であるのではなく、霊的で精神
的な存在でもあります。そのため全人を教育する必
要があるのです。これは、勉学を通して知識を伸ば
し、精神的な面である心と魂も育成する必要がある
ということです。

本学はこのような価値を与えるために、イエスの
教えとキリスト教的ヒューマニズムに基づいて教
育を行っています。先ほど朗読された聖書の箇所
には、イエスは「私のもとに来て、私の言葉を聞き、そ
れを行う人が皆、どんな人に似ているかを示そう。
それは、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置
いて、家を建てた人に似ている」と言っています。こ
の家は洪水、地震などに耐えることができます。イエ
スは人生という家の建て方について話しています。
一人ひとりの人生という建物をつくるときにしっ
かりとした土台の上に建ててくださいと言ってい
ます。このイエスの教えた言葉は愛と救いの言葉で
す。そして人々の幸せと社会の正義と平和に導く言
葉です。ぜひ本学でイエスの教えを身に付けていた
だきたいと思います。

大学生活は人生の土台を形成するためにとても
良い機会です。しっかりと専門的な知識を身に付け

ながら、精神的にも素晴らしい人格を形成して欲しいのです。そうすることによって、今、青春期に抱えている夢と希望が、人生を通して実現されるのです。大学時代に培った学問と徳によって、これからの長い人生を通して、質の高い幸せな生活を過ごすことができると、私は信じています。そして本学の教職員は、皆さんの目標達成のために、全力を尽くして導いていくことを、私は確信しています。

本学はカトリック教会と聖ドミニコ修道会の精神に基づいた人間形成の使命を持っています。カトリック教会は、約2000年間、聖ドミニコ修道会は800年間という長い歴史を通じて人生の優れた教師としてその使命を果たしてきたのです。

聖ドミニコ修道会は「キリスト教的愛と真理」を教えるために創立されました。愛と真理は本学の建学の精神にもなっています。皆さんは今日からこの建学の精神に基づいて学問を修め、身に付けてください。そして、本学の保護者である聖女カタリナに倣っていたいだきたいと思います。聖女カタリナは14世紀のヨーロッパで、神秘主義者として、学者として、また社会人として大きな活躍をしました。彼女は神と人々を愛する心を持ち、真理を追究した偉大な女性です。彼女は自分の人生の愛と真理を土台に

して、神と人々を愛し、最も貧しい人々に奉仕しながら幸せな人生を送りました。

愛と真理はどのように社会が変わっても、決して変わることはないのです。未来の社会は今以上に大きな変化をしていくでしょう。世界のグローバル化が進み、多文化社会の中で人間は生活していくと思います。そして自然科学と技術が進歩し、多くの産業ではロボット化されることも予想されます。また、将来、人間が宇宙で生活できる時代が来るかもしれません。しかし、人々を幸せにすることのできる愛と真理は変わることがないのです。

皆さん、本学のキャンパスは家族的な雰囲気を持っています。この雰囲気の中で友情を育ててください。先輩や教職員との交わりの中で楽しい学生生活を送ることを期待しています。

くり返しますが、皆さんには、しっかりと学問を習得し、高い徳を身につけて素晴らしい人生の土台を築いてほしいのです。

今日から、皆さんが瀬戸内海の青空と素晴らしい自然に囲まれて、楽しい学生生活を送り、豊かな人格を形成するように祈ってわたくしの式辞といたします。

◆◆ St. Catherine News ◆◆

●平成29年度学長賞を授与

スポーツ・ボランティア・文化活動で活躍した学生及び団体に対する学長賞の授与が、平成29年12月20日(水)、学内クリスマスにおいて行われました。今年の実賞者は以下の皆さんです。(敬称略)

[スポーツ表彰]

剣道部女子(団体表彰)

なぎなた 八木夢依(保育学科)

軟式野球部(団体表彰)

[文化活動表彰]

大学祭実行委員会(団体表彰)

四国活性化プロジェクト2017 藤原優歩(大学)

四国活性化プロジェクト2017 横田華那(大学)

大学カタリナキャンプ(団体表彰)

ダンス部(団体表彰)

[ボランティア表彰]

学生ボランティアセンター(団体表彰)

●愛媛銀行寄付講座・聖カタリナ大学「風早の塾」

1月20日(土)に愛媛銀行寄付講座「風早の塾」の最終講義が行われ、平成29年度の寄付講座の全日程を終了いたしました。

最終講義は本学看護学科 石本傳江教授が行い、講座の最後にホビノ・サンミゲル学長より挨拶がありました。なお、平成29年度は松山市駅キャンパスで開催しましたが、平成30年度は北条キャンパスで開催します。5月18日(金)には、聖カタリナ大学短期大学部保育学科 中島紀子教授が講演し、150名以上の方にご来場いただきました。

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

寄付講座は学生に加えて一般市民の皆様も聴講できますのでご来場ください。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。



●第33回愛媛出版文化賞 第1部門(研究・評論)の部門賞を受賞

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部研究叢書第4集「癒し 地域包括ケア研究(創風社出版)」が、第33回愛媛出版文化賞 第1部門(研究・評論)の部門賞を受賞しました。

本書は聖カタリナ大学開学30周年・聖カタリナ大学短期大学部開学50周年を記念して発刊した『記念論文集』です。

内容は「いやし 隣人を大切に作る心」「こころ豊かな地域支援活動-愛媛の実践を中心に-」「看護教育のあり方-本学が目指すもの-」の3部構成になっており、健康、福祉、看護、保育の領域を専門とする本学教員等が執筆し、14編の論文を掲載しています。



●人間社会学科 卒業研究論文報告会を開催

2月13日(火)に平成29年度 人間社会学科 卒業研究論文報告会が開催されました。

当日は、口頭発表(社会学系)とポスター発表(心理学系)が2つの教室に分かれて行われ、それぞれの発表では活発な質疑応答がなされました。

人間社会学科4年生にとっては、大学4年間の学習の集大成としての研究成果を発表する大切な機会となりました。

●硬式野球部の創部と監督就任について(記者会見)

聖カタリナ大学では、平成30年4月より硬式野球部を創部し、沖泰司氏(元愛媛マンダリンパイレーツ監督・元日本ハム プロ野球選手)が監督に就任しました。

3月12日(月)には沖監督と学長 ホビノ・サンミゲルと人間健康福祉学部長 恒吉和徳が記者会見を行いました。

沖監督より「硬式野球部の創部は、2016年に野球部ができた聖カタリナ学園高等学校との連携強化、県内高校球児の受け皿づくり、地域活性化につなげること等を見据えて決定した。卒業後、社会に出ても地元の企業にアピールできる学生を育てたい」との抱負等が述べられました。

今後、沖監督のもと、四国地区大学野球連盟に加盟し、リーグ戦などの出場を目指しますので、野球部の躍進にご期待ください。



【沖 泰司(おき やすし)監督プロフィール】



愛媛県出身。松山商業高等学校から明治大学に進学後、1983年(株)スリーボンドに入社し、1985年ドラフト4位で指名され1986年に日本ハム入団。1991年までの5年間プレー。

2004年愛媛マンダリンパイレーツに入団、2006年から監督に就任し、2008年後期にはチームを初の半期優勝に導く。2010年に退団。

2012年より韓国の高陽ワンダースに入団(バッテリーコーチ)、2013年に退団。2013年12月韓国Ktウィズに入団(バッテリーコーチ)、2015年に退団。2015年12月韓国ハンファ・イーグルスに入団(バッテリーコーチ)、2016年に退団。

●平成30年度後援会奨励表彰

5月16日(水)、母をたたえる日の行事に併せ、後援会長から後援会奨励金の授与が行われました。この奨励制度は、在学生の学業成績優秀者に後援会から奨励金を授与し、さらなる勉学への励みとしてもらうものです。今年度の表彰者は以下の皆さんです。(敬称略)

齋藤 佳那(大学2年)	佐伯 和紀(大学2年)	大槻 日菜(大学2年)
岩井 杏香(大学2年)	宮元 志帆(大学3年)	曾我部友裕(大学3年)
洲之内那衣(大学3年)	和泉 昌枝(短大2年)	三好 睦月(短大2年)

◆◆ 平成 29 年度後期行事 (H29.10.1 ~ H30.3.31) ◆◆

月	日	曜	区	行 事	
10	2	月	大	A O 入試面接、外国人留学生入試(指定校)	
				大	編入学試験(一般 I・提携 I・指定校推薦)
				短	A O 入試面接、外国人留学生入試(指定校)
4	水	大	人事委員会、教授会、健康スポーツ学科会議		
			短	教授会	
6	金	大	寄付講座①「風早の塾」		
10	火		図書館委員会、就職委員会		
11	水		入試・募集委員会、学生生活委員会、ボランティアセンター運営委員会		
13	金		まつやまシニアカレッジ		
14	土	大	寄付講座②「風早の塾」		
18	水	大	理事長講話(北条キャンパス)、キリスト教研究所フォーラム、キリスト教研究所所員会議、国際交流委員会		
			大	看護学科会議	
			短	保育学科会議	
19	木		理事長講話(松山市駅キャンパス)		
21	土		聖カタリナ大学短期大学部創立50周年、聖カタリナ大学創立30周年記念式典		
24	火		教学マネジメント会議		
25	水	大	教務委員会、人間文化研究所フォーラム		
			大	教務委員会	
27	金		理事会、財務委員会、大学訪問(上浮穴高校)、S D 委員会		
28	土	大	寄付講座③「風早の塾」		
31	火		第三者評価委員会		
11	1	水	短	教授会	
	3	金	大	推薦入試(看護学科)	
	4	土	大	寄付講座④「風早の塾」	
	5	日	大	推薦入試	
				短	推薦入試、入試・募集委員会
	6	月	大	入試・募集委員会	
				短	保育実習[保1] (~11/17)
	7	火	大	S D 委員会	
				大	入試・募集委員会
	8	水	大	広報委員会	
				大	教授会
				短	保育学科会議
	9	木	短	パイプオルガン演奏会実行委員会	
				短	教授会
	10	金	大	人事委員会	
	14	火		S D 委員会、パイプオルガン演奏会実行委員会	
	15	水	大	看護学科会議、健康スポーツ学科会議	
				短	人事委員会
	16	木		課長会議	
	17	金	大	まつやまシニアカレッジ	
	18	土	大	寄付講座⑤「風早の塾」	
	21	火		図書館委員会	
	22	水	大	キリスト教研究所フォーラム、募集広報WT会議	
				大	教職課程委員会
	23	木		カタリナフェスティバル in エミフルMASAKI	
	24	金	大	選考教授会、大学祭(~11/26)	
	28	火		F D 委員会	
	29	水	大	人間文化研究所フォーラム、奨学制度運営委員会	
				大	遠隔地支援制度部会

月	日	曜	区	行 事
12	1	金	大	中長期経営計画委員会
				短
	2	土	大	寄付講座⑥「風早の塾」、推薦入試(一般)、社会人入試
				短
	4	月	大	入試・募集委員会
	5	火	大	保健講話
				大
	6	水	短	S D 委員会、I R 推進委員会
				短
	8	金	大	まつやまシニアカレッジ
	9	土	大	寄付講座⑦「風早の塾」
	12	火	大	学生相談室運営会議
				大
	13	水	大	大学評価委員会
				大
14	木	大	社会福祉学科会議	
			短	人事委員会
16	土	大	寄付講座⑧「風早の塾」	
			大	学内クリスマス、人間文化研究所フォーラム、学生生活委員会、奨学制度運営委員会
20	水	大	遠隔地支援制度部会	
			短	人事委員会
21	木	大	精神保健福祉援助実習報告会・連絡会、看護学科会議	
			短	保育学科会議
22	金		理事会	
23	土	大	寄付講座⑨「風早の塾」	
27	水		S D 研修会	
1	7	日	大	冬季休業終了
				短
	10	水	大	教授会、健康スポーツ学科会議
				短
	13	土	大	寄付講座⑩「風早の塾」
				短
	17	水	大	看護学科会議
				短
	19	金	大	教学マネジメント会議
				大
	20	土	大	寄付講座⑪「風早の塾」
				大
	24	水		人事委員会
	25	木		大学訪問(北宇和高校)
	26	金	大	人間社会学科会議
27	土		評議員会・理事会	
31	水		人間文化研究所フォーラム	
2	1	木	大	後学期試験(~2/9)
				短
	2	金	大	一般入試、社会人入試、外国人留学生入試
				短
	3	土	大	入試・募集委員会
	5	月	短	入試・募集委員会
	6	火	大	教務委員会
大				入試・募集委員会、教務委員会
7	水	大	人間文化研究所フォーラム	
			大	健康スポーツ学科会議、人事委員会
			短	教授会、人事委員会、後学期授業終了

月	日	曜	区	行 事
2	8	木	大	入試・募集委員会
			短	保育学科会議
12	月	大		介護福祉実習[介2] (～3/9)
14	水			キリスト教研究所フォーラム
		大		教授会、看護学科会議
15	木	大		介護福祉実習[介3] (～3/14)、人事委員会
16	金			学長と学生との懇談会
19	月	大		精神保健福祉援助実習[社3] (～3/8)、教務委員会
		短		保育実習[保1] (～3/1)
20	火	大		社会福祉学科会議
21	水			理事会
		大		一般入試
		短		一般入試、保育学科会議
22	木			F D委員会
		大		教授会、人事委員会、入試・募集委員会
		短		教務委員会
23	金	大		入試・募集委員会
24	土			後援会役員会
		短		人事委員会
26	月	大		教授会、人事委員会

月	日	曜	区	行 事
2	26	月	短	教授会
			水	財務委員会
3	1	木		募集広報ワーキングチーム会議、情報セキュリティセミナー
				情報セキュリティセミナー
	2	金	短	保育実習[保1] (～3/15)
			大	教授会
	5	月	短	教授会、人事教授会、入試・募集委員会
			大	奨学制度運営委員会
	9	金		一般入試、入試・募集委員会
	10	土	大	図書委員会
	13	火		選考教授会、看護学科会議、人間社会学科会議、入試・募集委員会
	14	水	大	卒業式
15	木		春のオープンキャンパス	
18	日		第三者評価委員会	
19	月		春季休業(～3/31)	
21	水		学内合同企業説明会	
		短	保育学科会議	
23	金		評議員会・理事会	
24	土		入試・募集委員会	
27	火		大学訪問(今治精華高校)	
30	金			

◆◇ 平成 29 年度卒業生就職等進路状況 ◇◇

平成30年5月1日現在

1. 業種別状況

【聖カタリナ大学】

業 種 / 学 科	就 職 者 数					
	社会福祉	健康福祉	人間社会	健康スポーツ	合 計	
企 業	建設/製造	2	0	2	3	7
	情報通信/運輸、郵便	1	0	0	2	3
	卸売、小売	3	1	7	8	19
	金融、保険	0	0	0	2	2
	サービス(宿泊、複合他)	4	0	6	15	25
	その他(電気、不動産他)	0	0	1	1	2
	教育、学習支援	2	0	0	2	4
医療、福祉	医療、保健衛生(病院他)	2	0	2	5	9
	児童福祉施設	4	0	0	1	5
	老人福祉施設	10	0	1	0	11
	障害者福祉施設	7	0	0	1	8
	その他(社会福祉協議会他)	1	0	0	0	1
公 務	国家公務員	0	0	1	0	1
	地方公務員	0	0	0	1	1

就職者数	36	1	20	41	98	
(県 内)	(32)	(1)	(14)	(31)	(78)	
(県 外)	(4)	(0)	(6)	(10)	(20)	
卒業生内訳	就職未定者数	3	0	1	1	5
	就職希望者数	39	1	21	42	103
	就職率	92.3%	100.0%	95.2%	97.6%	95.1%
	進学決定者	1	0	0	0	1
	家事・その他	2	0	10	2	14
	卒業者数	42	1	31	44	118

【聖カタリナ大学短期大学部】

業 種 / 学 科	就職者数	
	保 育	
教 育 , 学 習 支 援	公立幼稚園	0
	私立幼稚園	25
	幼保連携型認定こども園	14
	その他の教育、学習支援業	0
児 童 福 祉	公立保育所	3
	私立保育所・託児所	42
	児童養護施設	4
	その他の児童福祉事業	5
医療、福祉	病院	2
	その他の福祉、介護事業	0
企 業	卸売、小売	0
	宿泊、飲食サービス	0
	金融、保険	0
	その他(製造、サービス他)	2
公 務	国家公務員	0
	地方公務員	0

就職者数	97	
(県 内)	(92)	
(県 外)	(5)	
卒業生内訳	就職未定者数	0
	就職希望者数	97
	就職率	100.0%
	進学決定者	3
	家事・その他	6
	卒業者数	106

(6Pへ続く)

2. 職種別状況

【聖カタリナ大学】

職種 / 学科	就 職 者 数				
	社会福祉	健康福祉	人間社会	健康スポーツ	合 計
医療ソーシャルワーカー(M S W)	0	0	0	0	0
精神科ソーシャルワーカー(P S W)	0	0	0	0	0
相談員(社会福祉主事他)	1	0	0	0	1
支援員(知的・身障・児童他)	12	0	0	2	14
介護福祉士, 介護職	10	0	1	1	12
その他の福祉専門職(社会福祉士他)	1	0	0	0	1
教員	0	0	0	1	1
事務	4	0	4	7	15
販売, 営業	3	1	10	12	26
インストラクター・実践指導者他	0	0	0	9	9
その他(サービス, 保安, 生産他)	5	0	5	9	19
合 計	36	1	20	41	98

【聖カタリナ大学短期大学部】

職種 / 学科	就職者数
	保 育
幼稚園教諭	38
保育士	56
その他の教員	0
社会福祉専門職業, 介護サービス職業	0
事務	2
販売	0
その他(サービス職業, 生産工程他)	1
合 計	97

◆◆ 平成 29 年度教授会議題 (後期) ◆◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H29. 10. 4 第7回

1. 前学期末卒業者について
2. 休学について
3. 退学について
4. 除籍について
5. 科目等履修生の受け入れについて
6. 聴講生の受け入れについて

H29. 11. 8 第8回

1. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科特別推薦入試(指定校・専願・スポーツI期)合格者選考について
2. 平成30年度看護学科推薦入試(公募制・学園特別)合格者選考について
3. 平成30年度看護学科社会人特別入試合格者選考について
4. 学年暦について
5. 退学について
6. 履修科目登録の特別許可について
7. 学則の一部改正について

H29. 12. 5 第9回

1. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科特別推薦入試(スポーツII期)合格者選考について
2. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般推薦入試合格者選考について
3. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科外国人留学生特別入試(指定校推薦)合格者選考について

H29. 12. 13 第10回

1. 学長賞受賞者の選考について
2. インターネット出願システムの導入について

H30. 1. 10 第11回

※報告・連絡事項のみ

H30. 2. 14 第12回

1. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般入試(A日程)合格者選考について
2. 平成30年度看護学科試験入試合格者選考について
3. 学則の一部改正について
4. 聖カタリナ大学試験に関する規程の一部改正について
5. 聖カタリナ大学卒業研究論文に関する規程の一部改正について
6. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部学生相談室規程の一部改正について
7. 退学について

H30. 2. 22 第13回

1. 卒業判定について

H30. 2. 26 第14回

1. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般入試(B日程)合格者選考について
2. 平成30年度看護学科センタープラス入試(A日程)合格者選考について
3. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科外国人留学生特別入試合格者選考について
4. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科第3次編入学・推薦校推薦入試(II期)合格者選考について
5. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科第3次編入学一般入試(II期)合格者選考について

H30. 3. 14 第15回

1. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般入試(C日程)合格者選考について
2. 平成30年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科大学入試センター試験利用入試(後期)合格者選考について
3. 平成30年度看護学科センタープラス入試(B日程)合格者選考について

4. 健康福祉マネジメント学科健康スポーツマネジメント専攻の社会福祉士養成の廃止及び健康福祉マネジメント学科の廃止について
5. 卒業の認定について
6. 進級判定について
7. 転学科・転専攻について
8. 退学について
9. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部図書館委員会規程の一部改正について
10. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部附属図書館利用規程の一部改正について
11. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部附属図書館一般利用者公開要綱の一部改正について
12. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部附属図書館資料管理規定の一部改正について
13. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部附属図書館分館長選考規程の廃止について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H29. 10. 4 第7回

1. 退学について
2. 休学について
3. 科目等履修生の受け入れについて

H29. 11. 1 第8回

1. 学年暦について
2. 退学について

H29. 11. 9 第9回

1. 平成29年度特別推薦入試(指定校・専願・スポーツ)合格者選考について

H29. 12. 6 第10回

1. 平成30年度一般推薦入試合格者選考について
2. 平成30年度社会人特別入試(I期)合格者選考について
3. 学長賞受賞者の選考について
4. インターネット出願システムの導入について

H30. 1. 10 第11回

※報告・連絡事項のみ

H30. 2. 7 第12回

1. 平成30年度一般入試(A日程)合格者選考について
2. 平成30年度大学入試センター試験利用入試(前期)合格者選考について
3. 学則の一部改正について
4. 聖カタリナ大学・聖カタリナ短期大学部学生相談室規程の一部改正について

H30. 2. 26 第13回

1. 平成30年度社会人特別入試(III期) [リカレント教育訓練]合格者選考について
2. 卒業判定について

H30. 3. 7 第14回

1. 平成30年度大学入試センター試験利用入試(後期)合格者選考について
2. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部図書館委員会規程の一部改正について
3. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部附属図書館利用規程の一部改正について
4. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部附属図書館一般利用者公開要綱の一部改正について
5. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部附属図書館資料管理規定の一部改正について
6. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部附属図書館分館長選考規程の廃止について
7. 卒業の認定について

◆◆ 平成 29 年度学校法人聖カタリナ学園決算概要 ◆◆

■ 1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が42億29百万円(予算比△48百万円)、資金支出が44億97百万円(予算比△2億26百万円)となりました。結果、収支差額△2億68百万円を前年度繰越支払資金22億92百万円に加算し、翌年度繰越支払資金は20億24百万円となりました。

■資金収支計算書：当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金(現金&いつでも引き出すことのできる預貯金)の収入及び支出の顛末を表します。

(注) 表中数字の単位は、「百万円」です。
百万円未満は四捨五入して記載しています。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)	
前年度繰越支払資金	2,292	2,292	—	
当年度	資金収入	4,276	4,229	△48
	資金支出	4,723	4,497	△226
	収支差額	△446	△268	178
翌年度繰越支払資金	1,846	2,024	178	

■ 2. 事業活動収支決算

事業活動収支決算は、事業活動収入が41億41百万円(予算比+37百万円)、事業活動支出が40億63百万円(予算比△32百万円)となり、基本金組入前当年度収支差額は78百万円(予算比+69百万円)となりました。同差額より基本金を組み入れた結果、当年度収支差額は△5億24百万円(予算比+2億42百万円)となり、基本金取崩額23百万円を加え、翌年度繰越収支差額は△51億45百万円(予算比+2億45百万円)となりました。

■事業活動収支計算書：当該会計年度の事業活動収入(学校の負債とされない収入)及び事業活動支出(現預金の支出を伴わない減価償却額や退職給与引当金繰入額などを含む)の内容を表すとともに、基本金組入前及び基本金組入後の収支均衡状態を明らかにします。一般企業会計の「損益計算書」に当たります(右表は総括様式)。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)
事業活動収入計 ①	4,104	4,141	37
事業活動支出計 ②	4,095	4,063	△32
基本金組入前当年度収支差額 (①-②)	8	78	69
基本金組入額合計	△775	△602	173
当年度収支差額	△766	△524	242
前年度繰越収支差額	△4,644	△4,644	—
基本金取崩額	20	23	3
翌年度繰越収支差額	△5,390	△5,145	245

■ 3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末(平成30年3月31日)において、資産の部は158億34百万円、負債の部は24億37百万円、純資産の部(正味財産)は133億97百万円(基本金185億42百万円と繰越収支差額△51億45百万円の合計額)となりました。

■貸借対照表：一定時点(本学は3月末現在)の資産、負債、純資産(基本金・繰越収支差額)の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

科 目	本年度末 (a)	前年度末 (b)	増 減 (a)-(b)
資産の部			
固定資産	13,570	13,302	268
流動資産	2,265	2,609	△345
資産の部合計	15,834	15,911	△77
負債の部			
固定負債	1,780	1,814	△34
流動負債	657	778	△121
負債の部合計	2,437	2,592	△155
純資産の部			
基本金	18,542	17,963	579
繰越収支差額	△5,145	△4,644	△501
純資産の部合計	13,397	13,319	78
負債及び純資産の部合計	15,834	15,911	△77

* 学校法人会計基準について *****
学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の稼得を目的にした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通じた人材育成という崇高な使命を負った社会性、公共性の高い存在です。しかしながら、「経営」という視点を欠き、過大な設備投資や場当たりの運営を続けていると、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招き、場合によっては、存続すら危うくなってしまいます。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるように、一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和46年に文部省令第18号として制定された「学校法人会計基準」です。国または地方公共団体から補助金の交付を受けている学校法人は、私立学校振興助成法第14条に基づき、「文部科学大臣の定める基準に従い、会計処理を行い、貸借対照表、収支計算書その他の財務計算に関する書類を作成しなければならない」とされています。なお、学校法人会計基準の一部を改正する省令(平成25年4月22日文部科学省令第15号)が平成27年4月1日に施行され、平成27年度以降の予算・決算に適用されています。*****

◆◆ 人 事 ◆◆

《平成29年12月15日付け》

【新規採用】

学生支援課

事務職員(非) 山本 美佳

《平成30年1月31日付け》

【退職】

総務課

技術職員(ぼけっと)(非) 大瀨 美鈴

《平成30年2月1日付け》

【新規採用】

総務課

技術職員(ぼけっと)(非) 砂本 真由

《平成30年3月31日付け》

【退職】

人間健康福祉学部

教授 松尾 浩一郎

教授 畔地 利枝

教授 北川 かほる

講師 芳地 泰幸

会計課

事務職員 吉廣 沙耶

事務職員(非) 木邨 貴子

事務職員(非) 川端 慶子

学生支援課

事務職員(非) 山本 美佳

図書課(北条キャンパス)

事務職員(非) 湯山 亜希

図書課(松山市駅キャンパス)

事務職員(非) 牧尾 裕

総務課

技術職員(ぼけっと)(非) 新崎 智華

【併任解除】

法人事務局 会計課

課長 河本 佳香

《平成30年4月1日付け》

【新規採用】

人間健康福祉学部

教授 田中 顕悟

松波 勝

川島 美保

福田 哲也

水口 啓吾

二宮 寿美

大城 卓也

梶田 賢

助教 今井 江里

助教 木原 知穂

助手 庄野 亜矢子

保育学科

講師 戸井 和彦

教務課

事務職員 橋本 香央里

会計課

事務職員 川端 慶子

図書課(北条キャンパス)

事務職員(非) 木邨 貴子

図書課(松山市駅キャンパス)

事務職員(非) 野田 亜希

総務課

技術職員(ぼけっと)(非) 丸山 恵理

(8Pへ続く)

【昇任】

人間健康福祉学部
 教授 丹下 美輪
 教授 森平 准次
 講師 村上 佳子
 講師 近藤 益代
 講師 齋藤 拓真
 助教 石崎 孝太郎

保育学科
 准教授 竹田 信恵
 准教授 遠藤 文子
 就職課
 係長 重松 映美
 入試課 中村 太亮
 主任 齋藤 拓真
 会計課 主任 正木 祐輔

竹田 信恵
 遠藤 文子
 重松 映美
 中村 太亮
 正木 祐輔

法人事務局 会計課
 課長 石井 亮

【昇任・配置換え】

教務課
 係長 大西 章公
 (併任：学生支援課係長)
 総務課 主任 品部 真佑

就職課
 主任 名村 文

【配置換え】

学生支援課
 主任 山内 宏之

【併任】

会計課 池田 哲
 (併任：総務課長代行)

◆◇ 研究室探訪 ◇◇

聖カタリナ大学

人間健康福祉学部 講師

齋藤 拓真

この4月で私が愛媛に来てから3年目に入りました。愛媛県は非常に温暖で住みやすく、何よりおいしい柑橘類がたくさんあるので、毎年季節の柑橘類が獲れる環境ではない東北地方の生まれなので、蜜柑と言えばスーパーでよく見る手のひらサイズでオレンジ色のネットに入ったものを想像していましたが、愛媛県で産直市などに行くと大きさも色も様々でとても美味しい蜜柑がたくさんあることに驚愕しました。毎年年末には実家の両親に「紅まどんな」の箱を送っていますが、とても好評で実家に辿り着くころには既に無くなってしまっています。

さて、このままでは蜜柑の話で終わってしまいますので、そろそろ私の研究室についてのお話をさせていただきます。私の専門領域は「体育科教育学」と呼ばれ、主に教員養成を担当しております。簡単に言うと、学校で行われる保健体育の授業をより良いものにしたたり、どのように保健体育科教員の資質・能力を向上させるのかを検討したりする領域です。実際の授業では、保健体育の授業設計の仕方や授業中の教師行動について講義形式で知識を獲得するとともに、模擬授業を行いながら実践的指導力の向上を目指しています。

このようにこれからの時代の教育では、知識を獲得するだけではなく、獲得した知識をどう使うのか思考する力が必要であると考えられています。昨年の末に各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準である学習指導要領が改訂されましたが、生産年齢人口の減少やグローバル化、人工知能（AI）の発達など、予測できないこれからの時代を



生きる子どもたちに身に付けさせるべき能力として「何を理解しているか、何ができるか(生きて働く「知識・技能」の習得)」、「理解していること・できることをどう使うか(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)」、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)」の3つの柱に整理されています。

私は、サッカー部の顧問をしておりますが、今年の2月～3月にかけてシンガポールに遠征を行いました。監督である末岡氏が海外経験の長いこともあり、実現した遠征ですが、まさにこれからの時代を生きる上で必要な学びが詰まった遠征だったと感じています。慣れない気候や異なる言語、文化の中で学生たちは自ら思考し、行動を起こし、時には失敗しながら充実した日々を送りました。本学サッカー部は愛媛県内から進学した学生が多く、愛媛の外にあまり出たがらない中でこうした経験をさせてあげられたのは、学生たちにとっても私にとっても貴重な体験だったと思います。

今後もこれからの時代を生きる学生たちにとって、必要な資質・能力とは何かを模索しながら、よりよい学びを提供していきたいと思っています。



聖カタリナ大学・短期大学部学報
 〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地
 TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>
 編集・発行
 広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp